

平成 26 年 8 月の市民の声（全 3 通のうち 3 通）

市民の声の内容とそのお返事を紹介します。

◇浸水対策について

【ご意見・ご提案など】

毎年、ちょっと雨が降ったくらいで、また洪水。市は何をしているのでしょうか。学習してください。何回浸水したかわかりません。テナントは出てゆき、壁はボロボロで防ぎようがありません。本当にいい加減にしてください。野球場やバイパスよりやることがあるでしょう。南魚沼市に住みたくありません。税金も払いたくありません。

【お返事】

近年の集中豪雨やゲリラ豪雨により、浸水被害が多発していることに対しまして、心よりお見舞申し上げます。

ご指摘の件につきまして、市では、当地域の浸水被害を解消するため、寺裏雨水幹線整備事業を進めております。既存の水路は蛇行し断面も不足しているため、市道旭町上町線道路改良事業と連携して、道路敷地内に新たな水路の整備を計画しています。現在は、道路の用地買収を進めており、用地の確保ができ次第、工事に着手する予定です。

今後とも、早期改善に向けて努力いたしたいと考えております。本事業についてご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（担当：下水道課）

◇有料ゴミ袋の強度について

【ご意見・ご提案など】

最近、有料ゴミ袋(可燃物)の強度が著しく弱いものがあるようです。特に2年ほど前からそのように思いはじめました。

該当するものは可燃物ゴミ袋の破損です。多いのはゴミ袋の取っ手部分の切断で、手を掛ける部分の合わせ目が切断します。また、取っ手部分の根本が裂けることもありました。双方とも、ゴミ袋に記載されている結び方をしようとするとう切断または裂けることが多いです。

焼却炉への影響や、燃焼時の有毒ガスの発生などを考慮してのゴミ袋かと思いますが、最近は特に弱くなってきているように感じられます。これが多発するようになると、有料であるがゆえに、交換クレームなども考えられ、それにとまなう無駄なコスト上昇も考えられますので、どうかこの事象を参考にして、改善につなげていただければ幸いです。

【お返事】

1. ゴミ袋の強度について

平成24年度から下記事項を発注仕様書に設け、品質の向上に努めております。

- ①品質及び性能はJIS規格(Z1702-1994及びZ1711-1994)の基準を準用すること。
- ②厚みについては、平均厚みでJIS規格の基準を準拠すること。
- ③製造業者に対し、公的機関の品質検査を受け、検査報告書の提出を義務化。

過去にはクレームもありましたが、平成23年度は8件、24年度は3件、25年度は2件と年々減少傾向にあります。

当施設に搬入されるゴミは多種多様であり、適正に処理するにはよく攪拌し、ゴミ質を均一化する必要があります。ゴミ袋が破袋されなければよく攪拌することができません。強度をより強くすることは可能ですが、トータルバランスを考慮して強度を設定しましたので、ご理解をお願いいたします。

2. 取っ手部分の切断について

製造工程での圧着が不十分であったにも関わらず、検品が甘かったことが原因と考えられます。製造業者に対し指導を行い、市としても製品に対するチェックの方法について検討したいと考えております。

今後は、今回のような事例を参考にさせていただき、製造業者と研究を重ね、更なる品質の向上に努めてまいりたいと考えております。

この度は、貴重な意見をいただきまして、ありがとうございます。今後とも、改善に向けて努力してまいりますので、よろしくをお願いいたします。

(担当：廃棄物対策課)

◇放置車両の撤去について

【ご意見・ご提案など】

高速道路の六日町インターチェンジにあるパーキングスペースのはじめに、数年来、放置されている車両があり、いつもとても気になります。撤去したほうが良いのではないのでしょうか。美観を損ね、観光客にとっても印象が良くないと思います。治安や不法投棄の面でも心配です。

【お返事】

この度、撤去のご提案をいただきました「放置車両」は、関越自動車道六日町インターチェンジのパーキングスペースにありますので、維持管理をしております東日本高速道路株式会社 新潟支社 湯沢管理事務所に照会いたしました。

その回答は、『これら車両は、撤去するように手続きを進めています。いつまでに撤去するというはっきりとした回答はできませんが、ご理解をお願いいたします。』ということでした。

景観を損ね、観光客の印象もよくない状況ですが、今しばらくお待ちくださるようお願いいたします。